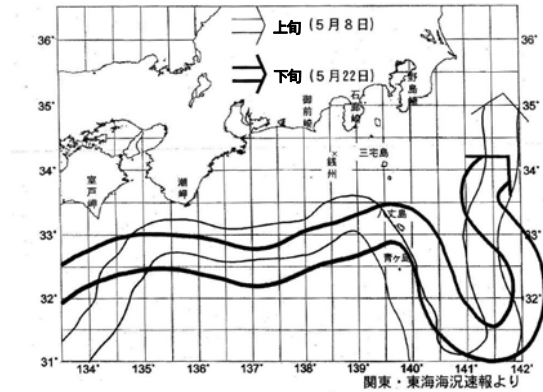


漁海況月報

平成 29 年 5 月 1 日

No. 5 ~5 月 31 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



5 月定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	16.2	16.8	15.8	16.9	18.0	17.0
	-0.8	0.2	-1.2	-0.9	-0.2	-0.6
中旬	17.9	18.3	17.5	18.0	18.2	18.5
	-0.0	0.8	-0.1	-0.5	-0.7	0.1
下旬	18.9	19.1	18.8	19.9	20.6	20.0
	0.1	0.8	0.3	0.4	1.1	0.7
月	17.7	18.1	17.6	18.3	19.0	18.7
	-0.3	0.6	-0.2	-0.3	0.1	0.2

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

黒潮は、5月上旬にC型からD型に変化した。上旬は遠州灘沖33°Nを東に進み、八丈島の西33.5°N、139°Eから南下し、31°N、141°Eから北に進んだ。中旬もD型で、ほぼ同じ位置を流れた。下旬に新たな小蛇行の東進により、W状(B型+D型)に変化した。遠州灘沖32.5°N、137°Eから東北東に進み八丈島付近から南南東に進んだ後31.5°N、141.5°Eから北に進んだ。

黒潮の流路変化に伴い、5月下旬に駿河湾内に暖水が波及した。

【県下沿岸域】

5月上旬は、稲取、沼津「平年並」、伊東、下田、雲見、焼津「やや低め」であった。中旬は、稲取「やや高め」、伊東、下田、焼津「平年並」、雲見、沼津「やや低め」であった。下旬は、稲取、沼津、焼津「やや高め」、伊東、下田、雲見「平年並」であった。

【竿釣りカツオ】

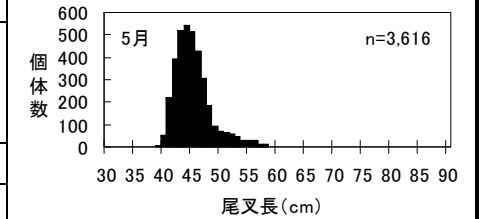
5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカ

ツオの水揚量は146トンで前年同月(231トン)の63%であった。魚価は424円/kgで前年同期(507円/kg)を下回った。

漁場は、31°~33°N、137°~141°Eの海域であり、水揚げされた魚体の銘柄は、小(尾叉長43~45cmモード)を主体に極小(尾叉長41~42cmモード)、中(尾叉長50~52cmモード)、大(尾叉長58~59cmモード)であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
29年5月上旬	53	13	4.0	467
中旬	36	8	4.5	390
下旬	57	14	4.1	407
29年5月計	146	35	4.2	424
28年5月計	231	68	3.4	507
27年5月計	174	32	5.4	436



御前崎港における測定結果

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は300トンで前年の同漁場の水揚量(303トン)の99%であった。また、1か統あたりの水揚量は、42.9トンで前年(43.2トン)の99%、平年(昭和57~平成28年の平均71.8トン)の60%であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(107トン、さば類、ブリ、スルメイカ)、次いで川奈漁場(52.5トン、ブリ、さば類、マアジ)であった。

多獲された魚種の水揚量は以下(表)の通りで、さば類は135トンで前年比1.5倍、平年比1.1倍であった。さば類のうち、ゴマサバは121.0トン、マサバは13.5トンであった。ブリは69.0トンで前年比85%、平年比2.6倍であった。銘柄わらさ主体で、銘柄わらさ水揚量は52.4トン(前年比65%、平年比2.4倍)であった。次いで銘柄いなだが16.2トン(前年比23.2倍、平年比8.2倍)と多かった。カタクチイワシは27.1トンで前年比80%、平年比62%、スルメイカは12.0トンで前年比2.5倍、平年比86%、マアジは11.1トンで前年比76%、平年比7%であった。その他、マイワシは前年・平年比0.04%(7kg)と極めて低調な漁獲であった。

多獲された魚種の主な漁場は以下(表)の通りで、さば類は北川漁場が53%(71.4トン)、赤沢漁場が19%(25.9トン)、ブリは川奈漁場が35%(24.2トン)、古網漁場が30%(20.9トン)、カタクチイワシは古網漁場が45%(12.3トン)、赤沢漁場が38%(10.2トン)、スルメイカは北川漁場が57%(6.8トン)、川奈漁場が16%(1.9トン)、マアジは川奈漁場が31%(3.4トン)、北川漁場が31%(3.4トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	134.8	1.5	1.1	北川、赤沢、谷津
ブリ	69.0	0.9	2.6	川奈、古網、北川
カタクチイワシ	27.1	0.8	0.6	古網、赤沢、北川
スルメイカ	12.0	2.5	0.9	北川、川奈、古網
マアジ	11.1	0.8	0.1	川奈、北川、古網

【サバ棒受網】

5月は棒受網で操業を行い、小川港にはマサバ11トン（前年同月3トン）、ゴマサバ1,009トン（前年同月392トン）が水揚げされ、1隻あたり水揚量はマサバ0.3トン（前年同月0.1トン）、ゴマサバ23.5トン（前年同月17.0トン）であった。1kgあたり平均単価はマサバ72円で前年同月（228円）、前月（108円）をともに下回った。ゴマサバは91円で前年同月（98円）を下回ったが、前月（90円）とほぼ同額であった。

漁獲されたゴマサバの体長組成は尾叉長27cmと33cmにモードを持つ2峰型を示し、それぞれ1歳魚と3歳魚主体であった。なお、マサバについては1隻あたりの水揚量が少なかったため、体長測定を行っていない。

小川港 さば類（棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
29年5月上旬	0	57	2	4	0.0	14.3	113	92	御蔵
中旬	10	321	4	15	0.6	21.4	66	90	銭洲
下旬	1	631	7	24	0.1	26.3	115	91	銭洲、三宅
29年5月計	11	1,009	13	43	0.3	23.5	72	91	御蔵、銭洲、三宅
28年5月	3	392	10	23	0.1	17.0	228	98	三本、三宅、銭洲
27年5月	10	719	9	24	0.4	30.0	83	78	御蔵、三宅、三本

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

*表中の「0」は水揚げがごく僅かであったことを示す。

【サクラエビ船曳網】

5月の出漁日数は15日（前年同月は13日）、水揚量は626トン（前年同月589トン）で、1日1か統あたりの漁獲量は695kg（前年同月755kg）であった。

主な漁場は、富士市沖～由比沖であったが、下旬には興津沖にも形成された。

水揚げされたサクラエビの体長組成は、体長33～36mm付近にモードを持つ0歳と40～42mmにモードを持つ1歳の2群で構成されていた。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	1日1か統当たり平均漁獲量(kg)	漁 場
平成29年5月上旬	111.9	4	466	富士市沖～由比沖
中旬	214.4	6	596	富士市沖～由比沖
下旬	299.5	5	998	富士川沖～興津沖
平成29年5月計	625.9	15	695	—
平成28年5月計	589.2	13	755	焼津・大井川沖、富士川沖
平成27年5月計	406.5	9	753	焼津・大井川沖
平成26年5月計	484.5	9	897	焼津・大井川沖

*水揚量は、旬ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾（静岡、吉田）が958kg、遠州灘（御前崎、福田、舞阪、新居）が973kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は969kgと前年同期（663kg）の1.5倍、平

年同期（過去5か年平均：807kg）の1.2倍と前年同期、平年同期を上回った。また、総水揚量は2,552.6トンで前年同期（1,481.6トン）の1.7倍、平年同期（1,801.6トン）の1.4倍と、前年同期と平年同期を上回った。平均単価は454円/kgと、前年同期（483円/kg）を下回り、平年同期（369円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要6港）

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	267.1	21	289	924	381
舞 阪	785.2	21	869	904	437
福 田	522.2	19	503	1,038	390
御前崎	234.8	18	198	1,186	570
吉 田	442.5	21	399	1,109	445
静 岡	300.8	19	377	798	600
平成29年5月計	2,552.6	119	2,635	969	454
平成28年5月計	1,481.6	99	2,236	663	483
平成27年5月計	2,402.4	107	2,468	973	451

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期：過去5か年（平成24～平成28年）平均値

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚げは、小川港では264.6トン（前年同月比11.9倍、平年同月比18.3倍）、沼津港では296.3トン（前年同月比1.6倍、平年同月比2.4倍）、静浦港では0.2トン（前年同月の水揚げは無し、平年同月比1,235倍）、伊東港では181.5トン（前年同月比1.9倍、平年同月比5.6倍）であった。カタクチイワシの水揚げは小川港では2.0トン、沼津港では31.4トン、伊東港では1.0トン、静浦港では無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網8か統の水揚げは、マイワシが10kg、カタクチイワシが29.5トンであった。

*平年：過去5か年（平成24～平成28年）平均値

【調査船駿河丸の動向】

5月 9日	～	5月 10日	地先定線観測調査	(2日間)
5月 12日			CTD 習熟航海	(1日間)
5月 15日	～	5月 18日	伊豆諸島周辺カツオ魚群分布調査	(4日間)
5月 22日	～	5月 23日	さば標識放流調査（銭洲、三宅島）	(2日間)
5月 24日			TBC 習熟航海	(1日間)
5月 29日	～	5月 30日	サクラエビ調査（面積密度）	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

